様式１

令和５年度　文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名
宮城県

行事名称	第70回文化財防火デー防火訓練
実施期間・日時	令和6年1月27日(土)14時00分から15時00分まで
実施場所	石巻市給分浜後山14－1　国指定重要文化財木造十一面観音立像･宮城県指定有形文化財持福院観音堂
主催者	石巻市教育委員会

■実施内容

訓練の想定

令和6年1月27日(土)14時30分頃、石巻市給分浜後山14－1付近において、入山者により投げ捨てられた煙草の火が下草に燃え広がっているのを参拝者が発見し通報、初期消火を試みるも山林へ延焼拡大。同敷地内にある重要文化財の「木造十一面観音立像」と有形文化財の「持福院観音堂」の2棟に延焼する恐れがあるとの想定で実施した。

訓練の内容

(1) 火災発見通報訓練(参拝時の火災発見、携帯電話による通報)、(2) 初期消火訓練(水消火器による初期消火)(3) 火災防ぎょ訓練(防火水槽、消火栓からの注水防ぎょ、散水幕による延焼防止)

参加者及び役割分担

石巻市教育委員会: 5名、石巻市牡鹿総合支所:7名、石巻市総務部危機対策課:2名、石巻市消防団牡鹿地区団:36名、石巻市消防団　他地区団(石巻市消防団長以下):20名、石巻市消防団各地区団:5名、曹洞宗寺院「陽山寺」住職他(文化財所有者等):2名、曹洞宗寺院「陽山寺」総代:20名、石巻東消防署署長、石巻東消防署牡鹿出張所:13名、地元一般参観者:10名
合計:120名

特に工夫した点

地元消防署の配慮により、今回は、延焼を防ぐための「散水幕消火ホース」を使用。市販のものもあるが、広く普及してもらうために、既存の消火ホースを加工したものを使用し、大きな効果を上げた。

問題点・課題

地元消防団による定期的な訓練を、市内全域に広げることが課題。

その他

毎年文化財防火デーにあわせて消防訓練を行うことで、地元消防団や地区住民の文化財愛護意識の高揚を図り、防災の必要性を確認する機会となっており、今後も継続して実施することが重要。

訓練風景

別添のとおり。

開会式

教育長挨拶

教育長挨拶

消防団長挨拶

消防団長挨拶

訓練概要説明（牡鹿出張所　日野所長）

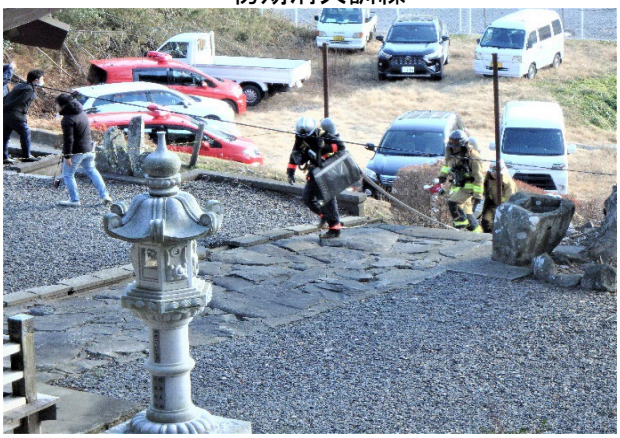
火災発生

消防団係員参拝

火災通報、初期消火訓練

初期消火訓練

消防自動車出動



火災防ぎょ訓練

火災防ぎょ訓練（ホース設置）

火災防ぎょ訓練（放水）

火災防ぎょ訓練（放水）

閉会式（消防団長講評）

閉会式（陽山寺住職挨拶）

閉会式（陽山寺住職挨拶）

散水幕ホースによる火災防ぎょ訓練